

平成18年度 当初予算

総額 253億5,294万円 の大型予算

一般会計 154億4,800万円

歳入

町が主体的に収入している自主財源は37億8,081万円(24.4%)であり、このうち町税は11億7,482万円となっています。また、地方交付税や国、県支出金などの依存財源は116億6,719万円(75.6%)で、特に、一般財源のうち約7割を占める地方交付税が縮減され厳しい状況ですが、有利な補助事業や起債を導入し、財政運営を行います。

歳出

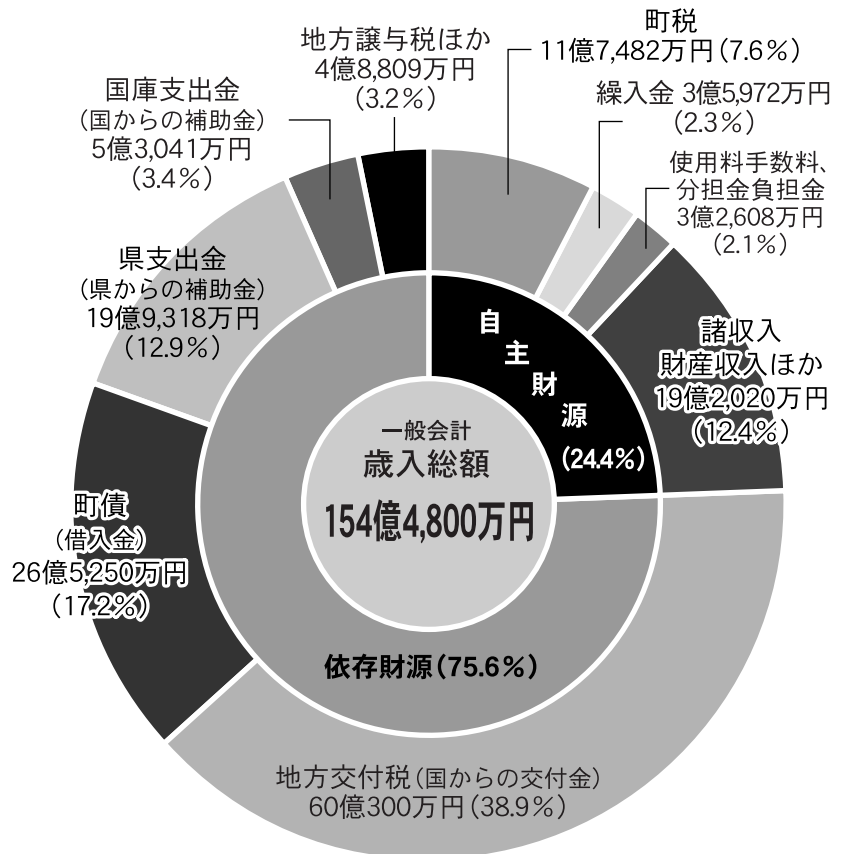
投資的経費として39億7,327万円を計上し、一体的な町づくりに向け、町民要望の強い事業を優先的に実施することとしています。

また、公債費や人件費などの義務的経費は54億607万円(全体の35.0%)となっていますが、これには財政健全化維持のための公債費の繰上償還金3億8,138万円も含まれています。補助費や物件費などの消費的経費は32億223万円(20.7%)を計上しています。

特に、特別職の報酬を15%から10%カットするなど人件費や物件費などの節減に努め、公債費を除く義務的経費及び消費的経費は昨年度より1億2,926万円少なくなっています。

特別会計

13の特別会計の総額は99億494万円で、奥出雲病院の運営をはじめ国保事業や下水道事業など町民の暮らしに密着した事業を行います。



平成18年度各特別会計の当初予算

特別会計名	当初予算額
国民健康保険事業特別会計	16億7,834万円
老人保健事業特別会計	24億8,798万円
介護老人保健施設事業特別会計	3億7,482万円
介護サービス事業特別会計	2億9,064万円
訪問看護ステーション事業特別会計	1,684万円
簡易水道事業特別会計	6億7,600万円
公共下水道事業特別会計	4億2,830万円
農業集落排水事業特別会計	10億9,490万円
合併処理浄化槽事業特別会計	2億870万円
仁多発電所事業特別会計	1,226万円
三井野原スキーリフト事業特別会計	7,727万円
国営農地開発事業特別会計	1億166万円
奥出雲病院事業特別会計	24億5,723万円